

# 「東日本大震災における消防団の活動と今後の課題」

—住民の安心安全を陰で支えた人々が直面した  
大震災の実態—

津波から辛うじて逃れた消防団にとって、この光景はこの後の長きにわたる闘いの幕開けにすぎなかった。

2011年3月11日 15:25 消防団活動中に津波に遭遇、大槌町対岸に孤立した大槌消防団本部分団。大槌町消防団撮影

## ●講演内容（予定）

- 全体司会 廣井悠(名古屋大学)
- 13:30-13:40 開会挨拶・主題解説 山田常圭(東京大学)
- 13:40-14:00 東日本大震災における消防団活動に関するヒアリング調査の概要 山田常圭
- 14:00-14:40 津波火災地域での消防団の活動事例：  
坂本憲昭(東京消防庁)
- 15:00-15:30 「おまえのおかげで助かった」の感謝のことばを胸に-大槌町における消防団の活動-：  
鈴木亨(大槌町消防団)
- 15:30-16:00 気仙沼における常備消防と消防団の協力：  
菊田清一(元気仙沼・本吉地域広域行政事務組合消防本部消防長)
- 16:00-16:30 地域防災における消防団の活動と課題：  
高梨成子(防災&情報研究所)
- 16:30-17:00 質疑・応答 閉会



会場：東京大学 山上会館大会議室

日時：平成24年6月11日(月) 13:30～17:00

※参加費&事前登録不要(問い合わせ先 [shobo@fse.t.u-tokyo.ac.jp](mailto:shobo@fse.t.u-tokyo.ac.jp))

主催：東京大学大学院工学系研究科

都市工学専攻 消防防災科学技術寄付講座